



第256号

発行  
 みちのくこども療育センター  
 みちのく・みどり学園  
 もりおかこどもクリニック  
 ことりさわ学園  
 盛岡市上田字松屋敷 11-14  
 ☎ (019)662-5696  
 FAX 662-7185

あなたは一人ぼっちではない

ピアノリスト (退園生) 石川 ゆず子

「人間のこの最大の苦しみに一人悲しく友に飛び込む」2016年2月19日に詠んだ自作の短歌です。

どの方の人生にもその時期が早いか遅いか人それぞれですが最大の苦しみがあると思います。マタイによる福音書に「求めなさい。そうすれば与えられる。探しなさい。そうすれば見つかる。門を叩きなさい。そうすれば開かれる。」という言葉があります。

私はその頃、病を抱えながらロジユヌフの家族と離れるためワルシヤワまで8時間。手荷物一つで山道を歩き電車を乗り継ぎ見知らぬ方の所に避難したことを思い出します。寒さの厳しい中、震えた道中、心臓の鼓動の音だけが聞こえ周りの音は耳に入りませんでした。ワルシヤワについて不安一杯の中、タクシーで

その方のお宅の門を叩きました。絶望の中、涙を流した私を抱き寄せて介抱してくださいました。その方は愛徳心のある方でした。私は救われたのだと深く感じ心の平和を取り戻しました。

神様はいつでも私を助けてくださり、それがどんなに酷い時でも手を取って導いてくださいます。もうこれ以上駄目という状態になっても決してそれ以上にならないことは確かなことだと思えます。そして、私はその苦しみを宝だと思えます。何故なら私達には神様がいるからです。その当時の私はこれまでにない、幸せと喜びを思い出しました。病のある私の人生を振り返ってみると沢山苦しんだだけで喜びがありました。

みどり学園の生活、先生方との思い出・・・私は感じやすく、どちらかという

と、内向的な性格です。外には現れませんでしたがその為に苦しまなかった日は一日もありませんでした。

「しかし私は過ぎ去った事で苦しんだり、これから先のことで苦しむような人ではありません。今の一瞬しか苦しみません」私の尊敬する24歳で夭折したりジューの聖テレーズがいつています。そして、私は前もって恐れて心を痛めることをやめるようにしました。

人は一人で生きることには出来ません。ワルシヤワで見知らぬ方に飛び込み助けられたのは神様のお計らいによる物としか言えませんが、最後に私の短歌「この年も多くの人に祈られて病気の我は生かされてお

### 沢内と私

ことりさわ学園

主任児童指導員 佐々木暢

私と沢内とは岩手愛児会で働く前から繋がりがありません。母の実家が七内にありますので、幼少期はよく泊りがけで遊びに行き、野山を走り回っていました。夏は弁

天島で川遊び、冬は大量の雪に心弾ませましたが、厳しい寒さに外遊びを断念し薪ストーブで暖まっていました。和賀線沿いに立ち並ぶ大きな三角屋根の家々が見えると、ふるさとに戻ってきたような感覚になりながら、学園の子どもたちとの太鼓や野球、余暇活動などこれまで何度も訪れています。

コロナ禍以前は、長瀬野集落の方々に温かく迎えてもらい、小学生グループ活動を行ってきました。和子さんのパン工房では「生地が発酵するのは生きている証拠。命あるものには優しくするんだよ」と教わりながらのパン作り。和衷会の皆さんとの懇親会では長瀬野集落の歴史や深澤村長の「命」を大切にしてください熱い語り聞けたことで、沢内に対する想いが

さらに深まることとなりました。最近では、西和賀町に入

つてすぐの自遊舎での活動が増えてきました。吹き抜けや梁が見える開放的な空間、カウンターキッチンを中心とした建物の作りは、子どもたちもリラックスしているようで、積極的に手伝いする姿がたくさん見える場所となっています。個室も充実しているので、グループに分けて普段とは違う組み合わせにドキドキしたり、日常とは違う楽しみを味わうことができ

ます。西和賀にはまだまだ紹介しきれない魅力があります。豊かな自然の中で大きく育ってほしいと思う今日この頃です。

約束通り理事長が世田谷の自宅に下仁田に移送のため伺った。搬出前に「中国地方の子守唄」と弾いた。その母を慰撫する音色に子守唄で泣いたことがないと言う理事長は涙した。「このピアノの方が私より価値があるかもよ」と。ゆず子さんがそのピアノを弾く演奏会が企画されている。



群馬県下仁田町にある「女性村ねぎぼうず」に招かれていつて来た。そこに廃校を活用し「日本らばい協会」(理事長西館好子)が主唱するシングルマザーと子どもを応援する様々な計画があった。その一つに「フジコの部屋」がある。そこに世界的ピアノリストであるフジコ・ヘミングさんが子どもの頃弾いていたピアノがあった。

その経緯は2年前版画家の井上勝江さんの個展にフジコさんが同席し女性村の事が話題になった。

その場で井上さんは自分の版画を寄付したいと話し、フジコさんは「私はピアノを寄贈したい」といった。それを傍で聞いた親しい人が「まさかあ」と思った。

約束通り理事長が世田谷の自宅に下仁田に移送のため伺った。搬出前に「中国地方の子守唄」と弾いた。その母を慰撫する音色に子守唄で泣いたことがないと言う理事長は涙した。「このピアノの方が私より価値があるかもよ」と。

ゆず子さんがそのピアノを弾く演奏会が企画されている。

# 退園おめでとう！！

## 退園生メッセージ

### 高3 S・H

高3 熱海 共嬉  
高3 S・H  
今までありがとうございます。これからも頑張ります。

高3 Y・Y  
今までありがとうございます。新しいところに行っても頑張りたいと思います。これからも応援よろしくお願いします。

高3 Y・Y  
退園しても元気な顔を見せてと言われているので定期的に遊びに来たいと思います。今までありがとうございます。

小1 O・R  
楽しかったです。ありがとうございました。

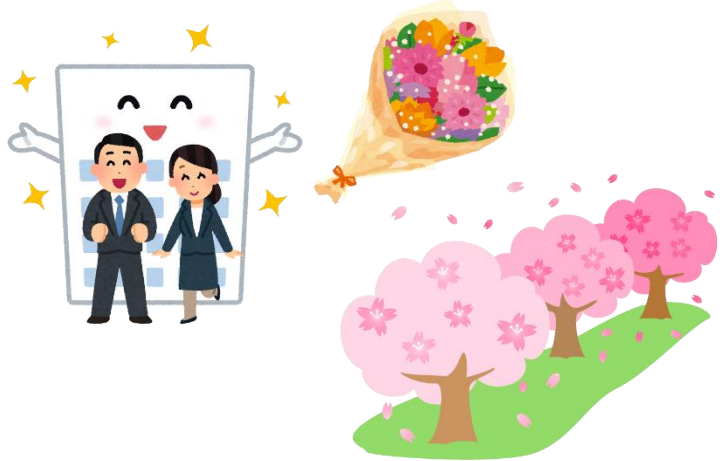


ごねごねしてごめんね。おうちにかえってがんばるよ。小1 S・N

短い間、ありがとうございます。これからも頑張ります。高3 M・K

沢山迷惑かけました。ごめんなさい。9年間ありがとうございました。高3 I・C

中2 K・S  
今まで沢山悪態をついてきたし、迷惑をかけたと思います。今でもありがとうございます。新しい環境でも頑張ります。



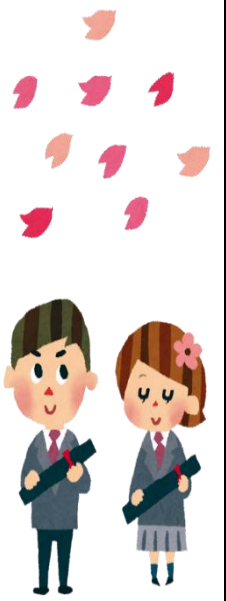
### ごつりさわ学園

「学園では、美味しいご飯を食べれて、健康的な生活ができて、とても幸せな日々を過ごしました。学園を出た後は、怠けすぎず自立出来るようにしたいです。約6年間で難う御座いました。」  
萩田琴葉

担当の冬晶さんに一番迷惑をかけました。退園までご指導ご指導ありがとうございました。次のところでは、周りに迷惑をかけるよう頑張ります。  
阿部 葵

八年間、お世話になりました。野球やそれ以外のことも、行事があるときは僕にも声をかけてください。  
照井 愛琉

中一の九月に学園に来た頃は、迷惑をかけていました。気持ちのコントロールをして、上手に付き合っています。これからは、社会人として新しい世界を歩んでいきます。  
工藤 蓮



### ごつりさわ

ワタリドリ  
帰り道、上空から鳥の音が……。  
夜空に目を凝らしてみると、美しいV字の隊列を組んで飛ぶ、ワタリドリ。

ワタリドリは食料を求め、子育てのために生活の場所を変える。天敵から身を守るために夜に移動する。生きるための知恵だろう。V字に隊列を組むのは、気流の影響を受けないため。先頭は交代しながら、体力の消耗をおさえて長い旅を続ける。仲間と協力しながら追い風、向かい風の中、時には休みながら過酷な旅を続ける。3月、いよいよ旅立つときがきた、四十四田の自然豊かなこの地を。

自分の夢を叶えるために羽ばたいていこう、ワタリドリのように。目的地へ向かって羽ばたいていこう、ワタリドリのように。人生は長い旅のよう、今の自分をみつめ、未来への夢をのせて羽ばたいていこう。

### 編集後記

新しい節目を迎える季節です。学園を離れてもみんな応援していること忘れないでね。冬は必ず春となる。(佐々木奈)